

日本補償コンサルタント協会県部会総会

技術者の資質向上を 萩原部会長再選

日本補償コンサルタント協会九州支部県部会(萩原敏幸部会長)は19日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで14



役員紹介なども行われた総会
＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

会員及び補償技術者の技術向上などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員

総会では、萩原部会長が「当業界を取り巻く環境とその受注動向は、一層厳しきものがある。これに勝つためには、技術者の資質向上に努めていきたい」と挨拶。
続いて、幹事の西久保正人氏(株)久永コンサル(タント)を議長に選出し、議事に入り、13年度事業報告・決算承認及び監査報告、14年度事業計画・予算案等を審議し、全て執行部原案通り可決承認した。また、任期満了に伴う役員改選では、幹事の三反田藤男氏(南三反田藤男設計事務所)に代わり、中原良平氏(株)中原総合鑑定所)を選出したほかは、全員を留任とした。
新年度の事業計画は、①起業家と綿密な連絡調整を行い、会員の適切な

津曲工業が奉仕作業 鹿大養護学校を清掃

津曲工業(株)(津曲善三社長)は19日、社員や協力業者ら約90人が参加し、鹿大養護学校を清掃した。作業は班ごとに分かれて実施。1班と2班が運動場の草取りや校舎まわりの清掃、3班と4班が体育館屋根清掃や中庭の枝木伐採などを行い、約3時間半にわたる作業で、校内は見違えるようになった。
作業は班ごとに分かれて実施。1班と2班が運動場の草取りや校舎まわりの清掃、3班と4班が体育館屋根清掃や中庭の枝木伐採などを行い、約3時間半にわたる作業で、校内は見違えるようになった。



伐採した枝木を運ぶ社員ら
＝鹿児島市の付属養護学校で

特別法の延長実現を

奄美群島振興開発総合調査に係る関係市町村長等への説明会は19日、鹿児島市の県市町村自治会館で開き、15年度末で期限切れを迎える奄美群島振興開発特別措置法の延長実現に向け、調査報告書策定着手に際しての意見を聞いた。
説明会では、初めに迫田昌典企画部長が「沖縄振興特別措置法の文言等を見る限り、奄振法も単純に延長という状況にはない。皆さんと知恵を出し合い、気を引き締めて取り組む必要がある」と述べた。
今回の総合調査は、群島の自立発展を可能とする基礎条件の分析を行うと共に、今後の振興開発の方向性を明らかにするもの。14年度改正要綱を国へ提出し、1年後の計画決定を予定している。
調査に際し、関係首長の意見を聞いた説明会。鹿児島市の県市町村自治会館で

国土交通省が建設を進めてきた国道10号加治木バイパスの加治木町反土から同町木田までの延長1.3kmが完成し、19日、開通式が開かれ、国土交通省をはじめ、県出向会議員、工事関係者らが出席して開通を祝った。
開通式典では初めに、江頭和彦九州地方整備局長が「開通で加治木JCTまでのアクセス時間の短縮と鹿児島市、空港及び東九州を連絡する広域的な物流の効率化が図れ、地域振興に大きく寄与すると期待している。また、交通の利便性や地域連携



全線開通した加治木バイパス全景(上)と開通を祝いはさみを入れる関係者＝加治木町の現地で



祝 一般国道10号加治木バイパス開通

血液不足解消へ250人参加
鹿児島市管工事協組(肥後勝司理事長)は19日、鹿児島市の日本赤十字社で恒例の献血ボランティア活動と健康診断を実施、早朝から会員ら約250人が訪れ、血液不足となるこの時期に献血を行った。
毎年4月に行われる献血ボランティア活動も今年で12回目、今年から健康診断も合わせて実施した。
当日は、朝早くから多くの会員が参加。問診や血圧測定など健康診断を行い、順次、献血車に乗り込み、採血に協力した。
仕事の合間に参加した旭工業(株)の園田崇さんは「献血ボランティアに参加するのは今回で2回目。多くの人々に役立てていただければ幸いです」と話した。



献血を行う会員ら
＝鹿児島市の日本赤十字社で

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

(有) 嵯坂坂工業(嵯坂清貴) (株) 松美研(松岡みち子) (有) 田中塗装(田中順雄)

日塗装、理事会
本県の3社入会承認
日本塗装工業会(日塗装)は16日の理事会で、前理事会で承認した14年度事業計画案に、品質委員会の新設を盛り込んだ。また、16社の新入会を承認した。これで同日現在の会員数は、3528社となった。
本県の新入会は次の通り。
(有) 嵯坂坂工業(嵯坂清貴) (株) 松美研(松岡みち子) (有) 田中塗装(田中順雄)